四八回生學年通信号外 修学旅行

北海道・1日目

兵庫県立伊川谷高等学校 48回生
発行所　〒651-2104
神戸市西区伊川谷町長坂 910-5
県立伊川谷高校 印刷室
電話 代表 078-974-5630
FAX 078-974-5631
https://www2.hyogo-c.ed.jp/weblog2/ikawadani-hs/

紙面から

5 4 3 2 1

いよいよ修学旅行出発だ
お見送りありがとう！
集合写真＆開校式
伊川谷48回生スキー実習
スゲーゼルスツホテル！

お見送りありがとう～！

出発日は日曜日であったにもかかわらず、10名の先生方が交通整理やお見送りのために湊川神社に駆けつけて下さいました。ありがたい事です。みんな無事に帰ってきますので、よろしくお願い致します。それでは

行ってきま～すっ！

お見送りありがとうございました

バス内は眠そう？

旅に胸ワクワク

いよいよ修学旅行出発だ！

旅行の始まり

新年も半月が経った令和7年1月16日(木)の早朝、若者達が続々と湊川神社に集います。

一体この地で何が？

そうです、伊川谷高校48回生の修学旅行がこの地で始まるのです。その記念すべき瞬間に私たちは立ち会う事ができました。それではお決まりの、「ハイ、チーズ！」**パシャリ**

朝6時10分集合完了、遂にバスの出発です。

いよいよフライトだ

飛行機内の様子です

2便に分かれる可能性もあったフライトですが、そこは48回生、強運の持ち主が居るのか、5クラス1便でのフライトとなりました。乗るのはANA771便です。

「うお～、鉄の塊が飛ぶ！」**飛行機は鉄じゃなくてアルミニウム合金である！**

そんなちびまる子ちゃんの様な突っ込みを入れたくなりました(笑)。

「景色きれい～っ」

高所恐怖症の人も、これだけ高ければ問題ありません。そして最後はお決まりの、着陸時にあるタイヤ接地です。

『ごごごごごごー(接地音)』

「**うぉーっ**(叫び声)」

翼よ、あれが北海道だ

北海道はでっかいどー。いやいや、ホンマにでっかいです。そして一面の『**雪！**』。思わず駆け回りたくなるのをガマンしてバスに乗車です。目指すはルスツです。因みに漢字では『**留寿都**』と書きます。

少し格好いいですね(笑)。

バスは途中、トイレ休憩のため『キノコ王国』に寄りました。『焼きニンニクなめ茸』『鮭なめ茸』など、

『**何じゃ！こりゃ～**(松田優作さん風に)』と言いたくなる商品が置いてありますが、ここは『**トイレ休憩**』です。見てる余裕なし！

イカ高生inキノコ王国

これが伊川谷高48回生スキー実習だ！

クラス写真が終わったら、いよいよスキー実習の始まりです。まずは開校式！実習班ごとに整列し、修学旅行委員T君の挨拶、そして実習班長が点呼表をインストラクターに渡したら後は滑るだけです。

とは言っても本日は初日、それに移動の疲れもあるので本格的な滑走は翌日からとし、この日は『雪に慣れる事』が目的です。積雪上での移動方法や、上手な転ける方についてを学びました。

上手な転け方

ホテル着 集合写真 ＆開校式

3組の集合写真です！

ホテルに着いた途端に、『スキーウェア着用』『ブーツのサイズ合わせ』を行いゲレンデへ集合、そこで配布されたゼッケンを着けると、気分は

スキー始めるぞ！

です。でもその前に、クラスの集合写真です。誰や？魂抜かれる～とか騒いでる者は？大丈夫です。安心しておおらかに写って下さいな。

やっぱスゲーゼ ルスツリゾートホテル！

スキー実習が終わったら、ようやく荷物を持って各自部屋に入ります。そこで夕食まで部屋でくつろぎます。

「すっげー、このホテル！」皆が口々に叫ぶのも当然です。何せこのホテルは『北海道を代表するリゾートホテル』です。え？どうスゴいかって？そりゃ、ホテルの館内にメリーゴーランドがあるんだから。早速はしゃいでいる者が居ます。ホンマに…(苦笑っ)

しっかり食べます

夕食の鮭は最高だけど、それ以上に皆でのご飯は

美味しいぜっ！

これが楽しい『食事タイム』だ！

スノボも頑張ってます

スキー頑張ってます

48回生學年通信号号外 修学旅行について

本誌は48回生(ほぼ)週刊情報誌『學年通信』の修学旅行記念して企画された4日連続発行の号外です。通常版とは異なり片面仕様ですが、修学旅行の様子を余す事なく記事にしていきます。

本校HPにアップするため、不特定多数の方の閲覧を考慮して、画質は一定レベルまで落としていますが、高画質版はまたあらためまして…。

編集長、頑張ります！

天性人語48th

新年早々の修学旅行が遂に始まった。この様な一大行事では、準備などが始まるまではなかなか落ち着かないものである。しかし一旦始まってしまえば、後は楽しむしかないだろう。▼いつもの教室での授業、そこから抜け出して大自然の中に立つと、今までのいろんな事が『ちっぽけな事』に思えるかもしれない。それでいいのだ。▼北海道の自然は本当に美しい。特に冬の雪山は最高の景観である。その地に立つと、今ある生への実感と感謝の気持ちが込み上がってきても不思議ではない。それほどに地球の大自然は偉大なのである。▼話を修学旅行に戻そう。旅行初日、朝早くにも関わらず、本当に多くの先生方が皆の見送りに来て下さった。それはこの修学旅行が第二学年だけでなく伊川谷高校にとっても大切な行事だからである。▼「修学旅行を成功させよう」よく聞かれる言葉である。では、『修学旅行の成功』とは一体どういう事なのだろう。それは、『問題行動もなく皆、無事に帰ってくる』などという小さな事ではない。そんな事は『当たり前』の事なのだから。『生への実感』『生きる希望』『これからの目標』他、人によって違いはあれども皆がそれぞれ新しい気付きを得る事ができれば、それが修学旅行の成功なのである。▼三泊四日の短い期間ではあるが、友と寝食を共にする事も大切な思い出となるであろう。さぁ、みんなで出発だ。

(福田)

兵庫県立
伊川谷高等学校
校歌(1番)

作詞 黒部　亨
作曲 岡村　健治

若草の
萌ゆる岡辺に　陽はあふれ
清らな命　育まむ
とこしえに　たゆみなく
道の奥処を　究むるところ
うるわし母校　伊川谷高校

学年キャッチフレーズ
笑顔・夢

校訓
自主 協同